

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・服飾雑貨売場、化粧品売場の一部改装で動員があり売上は上向き傾向にある。免税売上は前年並みとなり、伸びは鈍化している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・新発売の商品の売行きが良く、客単価が上昇している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・10連休の影響があった。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比12%増、前年同月比5%増と来場者が増えている。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	来客数の動き	・ショッピングセンター等への来客数は多いが、なかなか売上にはつなげている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・今月の客室稼働率は、3か月前と同様に前年同月実績を若干下回る見込みである。なかなか前年同月実績を上回る成績が残せていない状況である。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・特に上向きになるような要素がない。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・建築の受注契約に関しては、3月末までの消費税増税の駆け込み契約の反動があり減少しているが、建築相談者は安定している。
		家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク前半は良かったが、終盤及び終了後からは業績が厳しい。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・全体的な沖縄への入域客数は伸びているが、ホテルの宿泊は減っている。他のホテルや民泊などの宿泊施設が増えて競争が激しい。
	x	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街としては業種が偏っているように見える。来客数も日によってまちまちで、平均的には厳しいようである。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・採用が全くできず、飲み放題等の安売りの対応ができない。そのため安売りをやめた途端に、売上が半分以下に落ちている。こだわりの小規模店舗か、徹底した安売り店舗かに来客が二極化している。
企業 動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・前年同時期に比べ全体的に売上増となっている。単純に、店頭での購買を受けた物量の増と、店舗数増によるものと推測される。一方で、新規競合の参入による影響を受けている客もみられる。
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・消費は今月前半は良かったが、ゴールデンウィーク10連休後は一服感があり、以降は節約しているようにみられる。実際に売上高も前年同月比で変わらない動きや結果が予想される。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向け出荷は前年比減で、民間向けは前年比増、全体で横ばいである。工事予定現場の人手不足などの影響で思うようには工事が進まない状況である。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅の申込み、契約がぼったりと止まっている。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・ホテルは客室の高稼働率状態が続いているが、人材不足に伴う人件費増加など経営を圧迫する方向にある。
雇用 関連 (沖縄)	x	-	-	-
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求職者数の動き	・新卒を対象とした求人が増えている。前年と比較しても伸びているので景気が良いと判断できる。
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・5月の週平均求人数は890件で、2月の平均892件と比較するとほぼ同件数となっている。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	求職者数の動き	・求職学生の動きが変わらず鈍い。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求職者数が減少している。
	x	-	-	-